

# SANIX

## 2009年3月期 連結決算説明会

株式  
会社 **サニックス**

2009年5月14日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 目 次

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| <b>1. 2009年3月期 決算概況</b>    | <b>P. 1</b> |
| <b>2. 2010年3月期 連結業績見通し</b> | <b>P. 8</b> |

### 免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

# SANIX

株式会社 **サニックス**

## 2009年3月期 決算概況

### 2009年3月期：決算概況

#### 2009年3月期は前期比減収減益

売上高	：	25,233百万円	（前期比4.8%減）
営業利益	：	△596百万円	（前期比増減額 △1,192百万円）
経常利益	：	△620百万円	（前期比増減額 △1,115百万円）
当期純利益	：	△4,145百万円	（前期比増減額 △1,597百万円）

#### ◆HS事業部門◆

業績低迷は1月に底打ちしたものの、高単価商品である「基礎補修・補強工事」の販売低迷により、前期比減収となった。

#### ◆ES事業部門◆

不動産・建設業界の混乱の影響を受け、新規顧客対象商品の販売が低迷し、前期比減収となった。

#### ◆環境資源開発事業部門◆

【売電収入】 景気悪化により著しく電力需要が縮小したため、売電単価が下落したものの、前期に火災事故等の影響により操業を停止していた反動もあり、前期比増収となった。

【廃プラ加工処理】 景気悪化に伴う搬入単価下落による減収を搬入量拡大で補うべく、人員補強並びに設備投資を実施。搬入量は前期比ではプラスとなったものの減収となった。

【有機廃液処理】 景気悪化に伴う排出元企業の減産等の影響により、前期比減収となった。

## 2009年3月期：連結損益の実績

(単位:百万円)

連 結	2008/3期		2009/3期					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	2/6計画値	計画比	計画差異
売 上 高	26,510	100.0%	25,233	100.0%	95.2%	25,640	98.4%	△ 406
(HS部門)	15,691	59.2%	14,657	58.1%	93.4%	14,677	99.9%	△ 19
(ES部門)	3,340	12.6%	2,976	11.8%	89.1%	2,944	101.1%	31
(環境資源)	7,478	28.2%	7,600	30.1%	101.6%	8,018	94.8%	△ 418
売 上 原 価	14,800	55.8%	14,674	58.2%	99.1%	14,918	98.4%	△ 243
売 上 総 利 益	11,709	44.2%	10,558	41.8%	90.2%	10,721	98.5%	△ 162
販 管 費	11,113	41.9%	11,155	44.2%	100.4%	11,171	99.9%	△ 15
営 業 利 益	596	2.2%	△ 596	—	—	△ 450	—	△ 146
経 常 利 益	495	1.9%	△ 620	—	—	△ 480	—	△ 140
当 期 純 利 益	△ 2,547	—	△ 4,145	—	—	△ 920	—	△ 3,225

■ 利益面については、コスト低減による収益性改善を推進したものの、596百万円の営業損失となった。また、プラスチック資源開発工場における将来の回収可能価額を見直した結果、2,980百万円を減損損失として計上したこと等により、4,145百万円の当期純損失となった。

**SANIX** 2

## 2009年3月期：セグメント別損益の実績

(単位:百万円)

連 結	2008/3期		2009/3期						
	実績値	前期比	実績値	売上比	前期比	2/6計画値	計画比	計画差異	
HS部門	売 上 高	15,691	103.2%	14,657	100.0%	93.4%	14,677	99.9%	△ 19
	売 上 総 利 益	10,590	101.7%	9,799	66.9%	92.5%	9,759	100.4%	39
	販 管 費	6,413	76.2%	6,328	43.2%	98.7%	6,361	99.5%	△ 32
	営 業 利 益	4,176	209.5%	3,470	23.7%	83.1%	3,398	102.1%	72
ES部門	売 上 高	3,340	81.7%	2,976	100.0%	89.1%	2,944	101.1%	31
	売 上 総 利 益	1,217	71.5%	1,119	37.6%	91.9%	1,079	103.7%	39
	販 管 費	1,419	74.1%	1,208	40.6%	85.1%	1,199	100.7%	8
	営 業 利 益	△ 201	—	△ 89	—	—	△ 120	—	30
環境資源	売 上 高	7,478	77.8%	7,600	100.0%	101.6%	8,018	94.8%	△ 418
	売 上 総 利 益	△ 98	—	△ 359	—	—	△ 118	—	△ 241
	販 管 費	1,171	79.1%	1,458	19.2%	124.5%	1,404	103.8%	54
	営 業 利 益	△ 1,269	—	△ 1,818	—	—	△ 1,522	—	△ 295
配賦不能	営 業 利 益	△ 2,109	—	△ 2,159	—	—	△ 2,205	—	46

**SANIX** 3

# 2009年3月期：セグメント別四半期損益の実績

(単位：百万円)

連 結		2009/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績値	前期比	実績値	前期比	実績値	前期比	実績値	前期比
HS 部門	売上高	3,908	91.4%	4,067	101.4%	3,279	91.9%	3,401	88.7%
	売上総利益	2,649	92.7%	2,746	101.5%	2,144	89.5%	2,258	85.9%
	販管費	1,833	110.6%	1,689	100.8%	1,425	93.1%	1,380	89.1%
	営業利益	816	67.9%	1,057	102.6%	718	83.3%	878	81.2%
ES 部門	売上高	792	92.1%	881	94.0%	678	86.8%	623	82.0%
	売上総利益	307	91.9%	325	91.1%	232	84.7%	252	100.9%
	販管費	316	83.6%	324	87.4%	286	82.1%	281	87.6%
	営業利益	△ 8	—	1	—	△ 53	—	△ 28	—
環境 資源	売上高	1,883	110.3%	1,879	96.4%	2,033	99.8%	1,804	101.2%
	売上総利益	30	130.8%	△ 405	—	24	18.3%	△ 8	—
	販管費	334	113.7%	335	111.8%	345	121.4%	442	151.6%
	営業利益	△ 304	—	△ 741	—	△ 321	—	△ 451	—
配賦 不能	営業利益	△ 626	—	△ 545	—	△ 494	—	△ 492	—

**SANIX** 4

# 2009年3月期：HS事業部門ハイライト

## HS事業部門

### ■ 個人消費の落ち込みにより、前年同期比減収。採算性を考慮し、8店舗の統廃合を実施。

白蟻防除の繁忙期である4月～6月にテレビCMを実施したこと等により、「白蟻防除施工」が前年同期比5.3%増、「床下・天井裏換気システム」が34.1%増となったものの、「基礎補修・補強工事」は顧客への提案が一巡したこともあり、前年同期比37.8%減となった。

利益面ではコスト低減は進んだものの、減収幅をカバーするまでには至らず、前年同期比減益となった。

### ■ 商品別売上高・営業利益

(単位：百万円)

連 結	2008/3期	2009/3期				
	実績値	実績値	前期比	2/6計画値	計画比	計画差異
白蟻防除施工	5,022	5,288	105.3%	5,286	100.0%	1
基礎補修・補強工事	7,035	4,374	62.2%	4,383	99.8%	△ 9
床下・天井裏換気システム	1,901	2,549	134.1%	2,576	99.0%	△ 26
家屋補強システム	351	410	116.6%	365	112.3%	44
そ の 他	1,378	2,033	147.5%	2,065	98.5%	△ 31
売上高合計	15,691	14,657	93.4%	14,677	99.9%	△ 19
営業利益	4,176	3,470	83.1%	3,398	102.1%	72

**SANIX** 5

## 2009年3月期：ES事業部門ハイライト

### ES事業部門

#### ■不動産・建設業界における混乱により減収。採算性を考慮し、13店舗の統廃合を実施。

営業効率を高めるべく、法人営業へシフト。上期は堅調に推移したものの、金融危機に伴う不動産・建設業界における混乱の影響により、受注見込みが先延ばしとなった結果、減収幅が広がり収益が悪化。

選択と集中により、2009年3月に13店舗の統廃合を実施。大都市圏における法人営業に特化し、収益性の改善を図る。

#### ■商品別売上高・営業利益

(単位:百万円)

連 結	2008/3期	2009/3期				
	実績値	実績値	前期比	2/6計画値	計画比	計画差異
防 錆 機 器 取 付 施 工	795	721	90.7%	748	96.5%	△ 26
建 物 給 排 水 補 修 施 工	1,013	876	86.5%	869	100.8%	7
建 物 防 水 塗 装 補 修 施 工	578	493	85.3%	482	102.3%	11
そ の 他	954	884	92.7%	844	104.7%	39
売 上 高 合 計	3,340	2,976	89.1%	2,944	101.1%	31
営 業 利 益	△ 201	△ 89	—	△ 120	—	30

※ES事業部門における「活水器取付施工」は、2008年3月期より「防錆機器取付施工」に名称を変更。

**SANIX** 6

## 2009年3月期：環境資源開発事業部門ハイライト

### 環境資源開発事業部門

#### ■売電収入は前年同期比101.5%増となったものの、廃プラ加工処理が減収

前期に火災事故等の影響により操業を停止していた反動もあり、売電収入は増収となった。廃プラ加工処理については、景気悪化に伴い搬入単価下落による減収を搬入量拡大で補うべく営業人員の増強を前倒しで実施。結果、搬入量は前年同期比で増加したものの、減収幅を補うまでには至らず、前年同期比4.6%減、営業損失は人員増強に伴う固定費の増加等の影響により、1,818百万円となった。

#### ■商品別売上高・営業利益

(単位:百万円)

連 結	2008/3期	2009/3期				
	実績値	実績値	前期比	2/6計画値	計画比	計画差異
廃 プ ラ 加 工 処 理	3,777	3,603	95.4%	3,816	94.4%	△ 212
有 機 廃 液 処 理	1,889	1,833	97.1%	1,909	96.0%	△ 75
売 電 収 入	769	1,550	201.5%	1,643	94.4%	△ 92
焼 却 処 理	619	—	—	—	—	—
そ の 他	422	611	144.6%	648	94.3%	△ 37
売 上 高 合 計	7,478	7,600	101.6%	8,018	94.8%	△ 418
営 業 利 益	△ 1,269	△ 1,818	—	△ 1,522	—	△ 295

**SANIX** 7

# SANIX

株式会社 **サニックス**

## 2010年3月期 連結業績見通し

### 2010年3月期：通期業績見通しについて

#### 通期業績見通し

売上高	： 25,000百万円	(前期比増減額	△233百万円)
営業利益	： 750百万円	(前期比増減額	1,346百万円)
経常利益	： 720百万円	(前期比増減額	1,340百万円)
当期純利益	： 600百万円	(前期比増減額	4,745百万円)

#### ◆◆業績見通しのポイント◆◆

##### HS事業部門 (営業損益 前期比増減額：△728百万円)

景気低迷による個人消費の落ち込みは当面続くものと予想。現状の人員で営業生産性は前期並みの推移を見込む。

##### ES事業部門 (営業損益 前期比増減額： 189百万円)

13店舗の統廃合により、大都市圏に営業エリアを集約。利益率の高い防錆機器の販売に注力し、営業黒字化を図る。

##### 環境資源開発事業部門 (営業損益 前期比増減額：1,911百万円)

苫小牧発電所の安定操業並びに廃プラスチック加工処理の搬入量拡大により営業黒字化を図る。

##### 消去又は全社 (営業損益 前期比増減額：△25百万円)

【参考】2009年3月期において、特別損失として3,313百万円の減損損失を計上しております。

# 2010年3月期：連結業績見通し

(単位:百万円)

連 結	第2四半期累計				通 期			
	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額
売 上 高	12,680	100.0%	94.5%	△ 732	25,000	100.0%	99.1%	△ 233
(HS部門)	7,322	57.7%	91.8%	△ 653	13,140	52.5%	89.6%	△ 1,517
(ES部門)	1,140	9.0%	68.1%	△ 534	2,265	9.1%	76.1%	△ 711
(環境資源)	4,218	33.3%	112.1%	455	9,595	38.4%	126.2%	1,994
売 上 原 価	7,158	56.5%	92.3%	△ 599	13,890	55.6%	94.7%	△ 784
売 上 総 利 益	5,522	43.5%	97.6%	△ 133	11,110	44.4%	105.2%	551
販 管 費	5,435	42.9%	90.5%	△ 571	10,360	41.4%	92.9%	△ 795
営 業 利 益	87	0.7%	—	438	750	3.0%	—	1,346
経 常 利 益	67	0.5%	—	435	720	2.9%	—	1,340
当 期 純 利 益	3	0.0%	—	740	600	2.4%	—	4,745

■HS事業部門及びES事業部門については前年同期比減収。環境資源開発事業部門については、搬入量拡大を見据えた営業人員の増強を前倒しで実施したことや、前処理設備の異物除去能力強化等を実施したこと、本州ストックヤードの在庫整理が完了したこと等により、積極的に営業展開できる体制が整ったため、前期比増収を見込む。  
利益面では、環境資源開発事業部門における発電所の安定操業、並びに燃料外販による収益性の改善により、当期純利益の黒字化を見込む。

**SANIX** 9

# 2010年3月期：セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

連 結	第2四半期累計				通 期				
	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	売上比	前期比	前期比 増減額	
HS 部門	売 上 高	7,322	100.0%	91.8%	△ 653	13,140	100.0%	89.6%	△ 1,517
	売上総利益	4,852	66.3%	89.9%	△ 544	8,480	64.5%	86.5%	△ 1,319
	販 管 費	3,079	42.1%	87.4%	△ 443	5,738	43.7%	90.7%	△ 590
	営 業 利 益	1,773	24.2%	94.6%	△ 100	2,742	20.9%	79.0%	△ 728
ES 部門	売 上 高	1,140	100.0%	68.1%	△ 534	2,265	100.0%	76.1%	△ 711
	売上総利益	482	42.3%	76.1%	△ 151	956	42.2%	85.4%	△ 163
	販 管 費	430	37.7%	67.0%	△ 211	856	37.8%	70.8%	△ 352
	営 業 利 益	52	4.6%	—	59	100	4.4%	—	189
環 境 資 源	売 上 高	4,218	100.0%	112.1%	455	9,595	100.0%	126.2%	1,994
	売上総利益	188	4.5%	—	562	1,674	17.4%	—	2,033
	販 管 費	798	18.9%	119.0%	127	1,581	16.5%	108.4%	122
	営 業 利 益	△ 610	—	—	435	93	1.0%	—	1,911
配 賦 不 能	営 業 利 益	△ 1,128	—	—	43	△ 2,185	—	—	△ 25

**SANIX** 10



# 2010年3月期：連結四半期業績見通し

(単位:百万円)

連 結	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績値	前期比	実績値	前期比	実績値	前期比	実績値	前期比
売 上 高	6,218	94.4%	6,462	94.6%	6,100	101.8%	6,220	106.7%
(HS部門)	3,793	97.1%	3,529	86.8%	2,840	86.6%	2,978	87.5%
(ES部門)	553	69.8%	587	66.6%	542	79.9%	583	93.4%
(環境資源)	1,872	99.4%	2,346	124.8%	2,718	133.7%	2,659	147.3%
売 上 原 価	3,686	102.5%	3,472	83.4%	3,367	93.8%	3,365	101.1%
売 上 総 利 益	2,532	84.7%	2,990	112.1%	2,733	113.8%	2,855	114.1%
販 管 費	2,791	89.7%	2,644	91.3%	2,507	98.2%	2,418	93.1%
営 業 利 益	△ 259	—	346	—	226	—	437	—
経 常 利 益	△ 269	—	336	—	219	—	434	—
当 期 純 利 益	△ 308	—	311	—	193	—	403	—

**SANIX** 11

# 2010年3月期：セグメント別四半期業績見通し

(単位:百万円)

連 結		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		計画値	前期比	計画値	前期比	計画値	前期比	計画値	前期比
HS 部門	売 上 高	3,793	97.1%	3,529	86.8%	2,840	86.6%	2,978	87.5%
	売上総利益	2,530	95.5%	2,322	84.5%	1,746	81.4%	1,882	83.3%
	販 管 費	1,580	86.2%	1,499	88.7%	1,373	96.3%	1,286	93.2%
	営 業 利 益	950	116.4%	823	77.9%	373	51.9%	596	67.9%
ES 部門	売 上 高	553	69.8%	587	66.6%	542	79.9%	583	93.4%
	売上総利益	231	75.0%	251	77.0%	226	97.0%	248	98.3%
	販 管 費	216	68.2%	214	65.9%	212	74.1%	214	76.1%
	営 業 利 益	15	—	37	—	14	—	34	—
環 境 資 源	売 上 高	1,872	99.4%	2,346	124.8%	2,718	133.7%	2,659	147.3%
	売上総利益	△ 229	—	417	—	761	—	725	—
	販 管 費	398	119.0%	400	119.1%	394	113.9%	389	87.9%
	営 業 利 益	△ 627	—	17	—	367	—	336	—
配賦 不能	営 業 利 益	△ 597	—	△ 531	—	△ 528	—	△ 529	—

**SANIX** 12



# 2010年3月期：HS事業部門見通し

## 戦略と具体的施策

### ◆訪問販売以外の方法で新規シロアリ防除サービスの顧客獲得

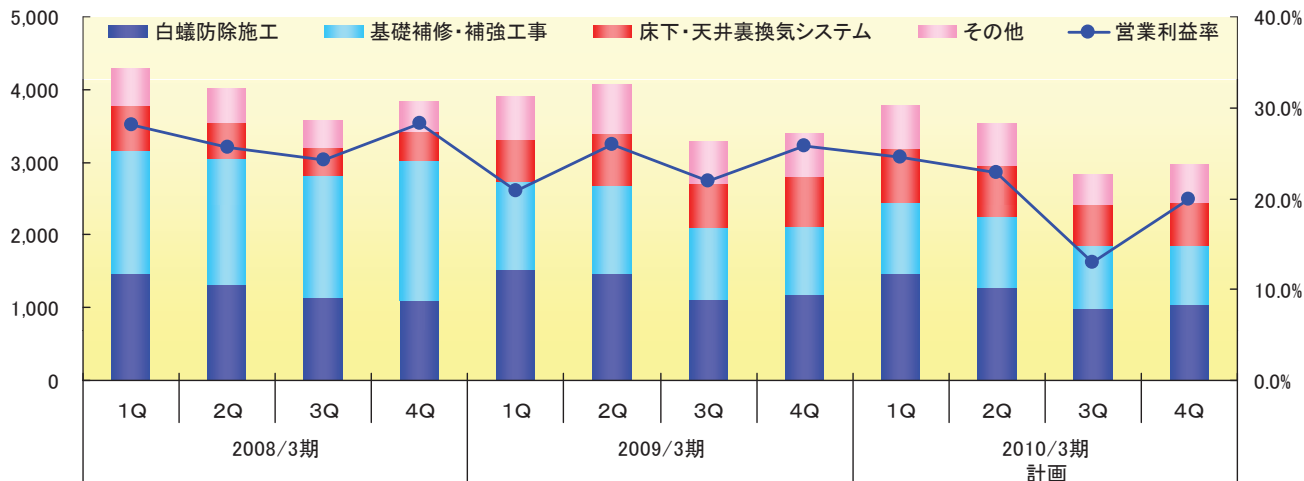
- シロアリ防除サービスの繁忙期(4~6月)に、テレビCMやチラシ等による広告宣伝を展開
- 同じく繁忙期に、シロアリ防除サービスの新規契約値引きキャンペーンを実施
- 法人営業を強化し、個人顧客や住宅に強みのある他社との連携を推進

東証一部上場10周年  
ありがとうキャンペーン  
(09年4月1日~7月31日)



### ■商品別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)

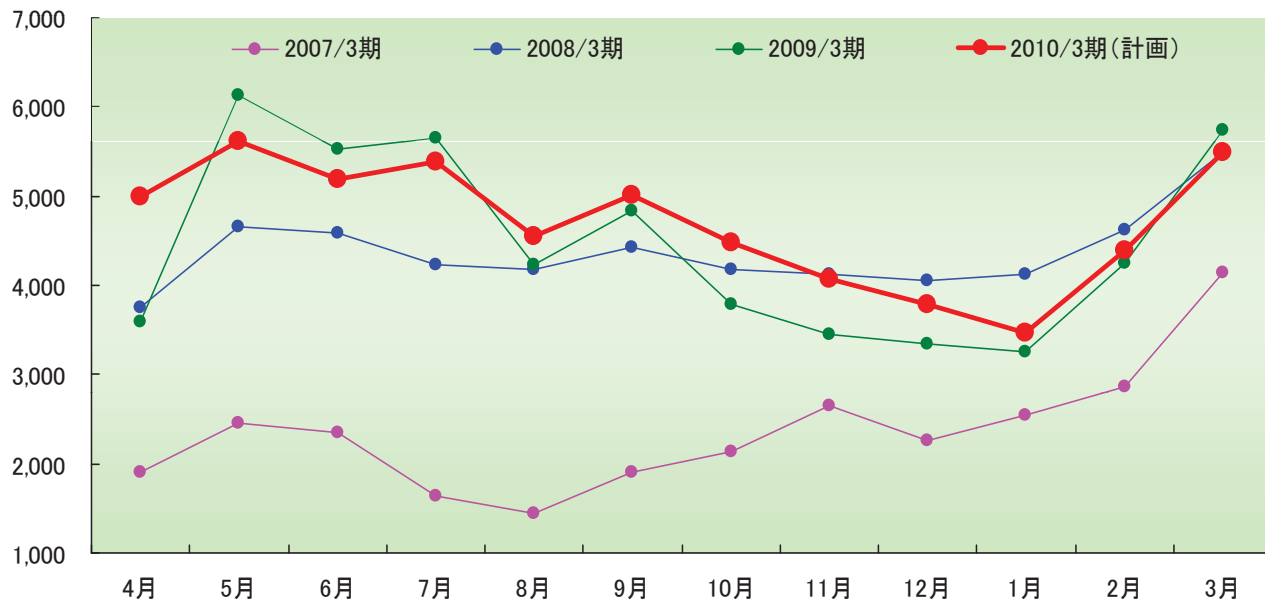


**SANIX** 13

# 2010年3月期：HS事業部門見通し

### ■営業1人当たり売上高の推移

(単位:千円)



※2007年3月期 9月以降の人員数は実際の稼働人員数で計算しています。

2009年3月期に低下した営業生産性は、同第4四半期に元の水準まで回復。2010年3月期は前期並みの営業生産性維持に努める。

**SANIX** 14

# 2010年3月期：ES事業部門見通し

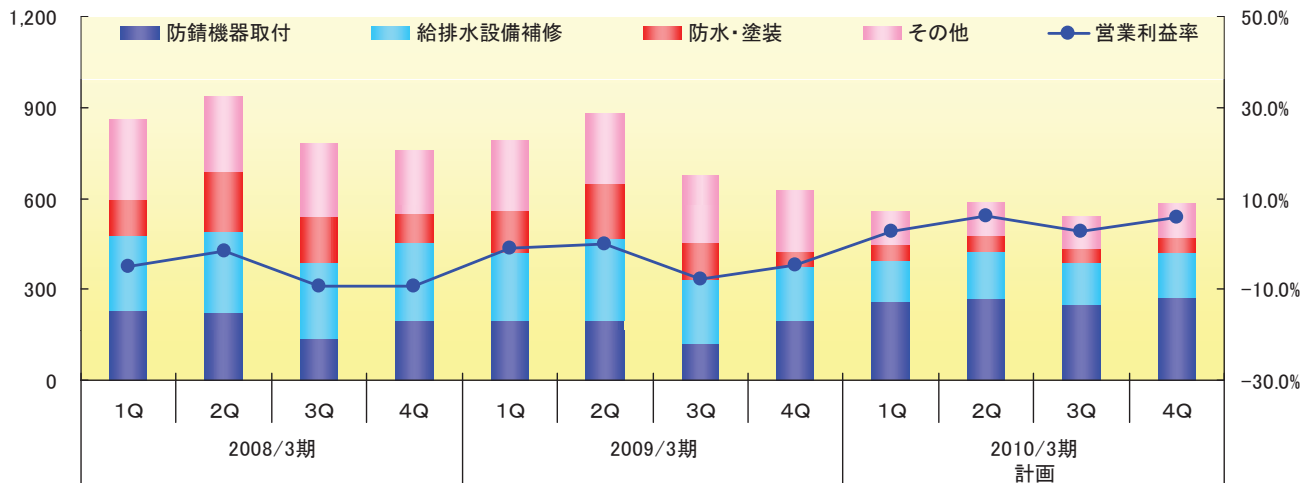
## 戦略と具体的施策

### ◆選択と集中により、利益体質への復活を目指す

- 関西以西は顧客管理・PC(ペストコントロール)中心の営業活動、中京以東は新規開拓に注力する。
- 2009年3月に店舗統廃合を実施し、3店舗に集約(関東エリア・関西中京エリア・九州中四国エリア)。
- 新規開拓においては、利益率の高い防錆機器販売及び管・水廻り工事に注力する。

### ■商品別売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)

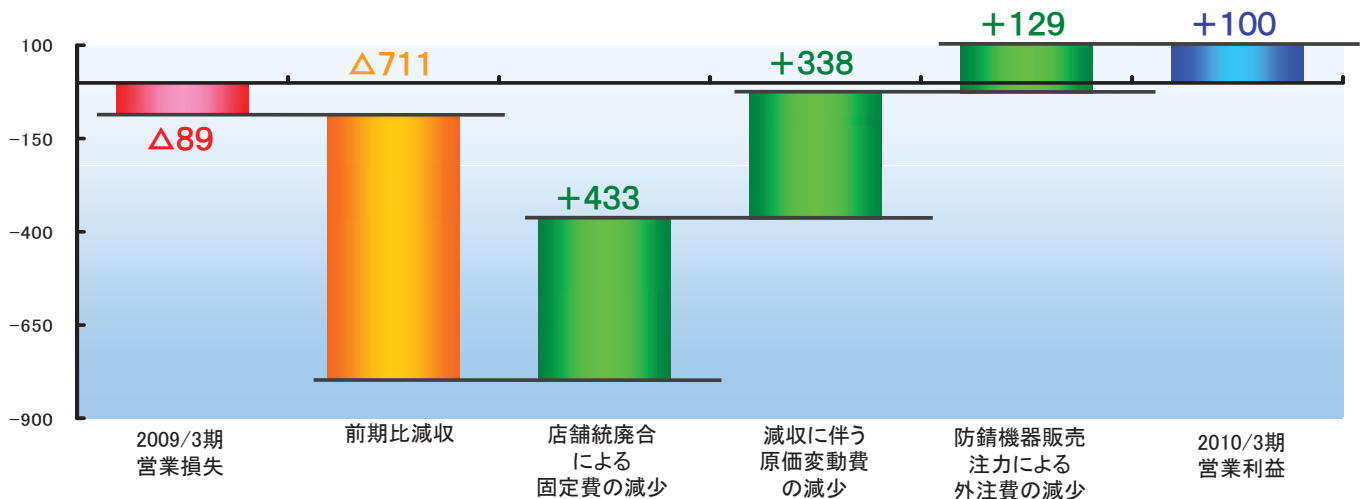


**SANIX** 15

# 2010年3月期：ES事業部門見通し

## ■ES事業部門における営業損益の見通し

(単位:百万円)



### <ES事業部門見通し>

- ◆ 店舗統廃合による減収(影響額約711百万円)。
- ◆ 店舗統廃合による固定費(販売管理費及び労務費)の減少(影響額約433百万円)
- ◆ 減収に伴う原価変動費(材料費、外注費、消耗品費等)の減少(影響額約338百万円)
- ◆ 中京以東の新規開拓において、防錆機器販売注力に伴う外注費の減少(影響額約129百万円)

**SANIX** 16

# 2010年3月期：環境資源開発事業部門見通し

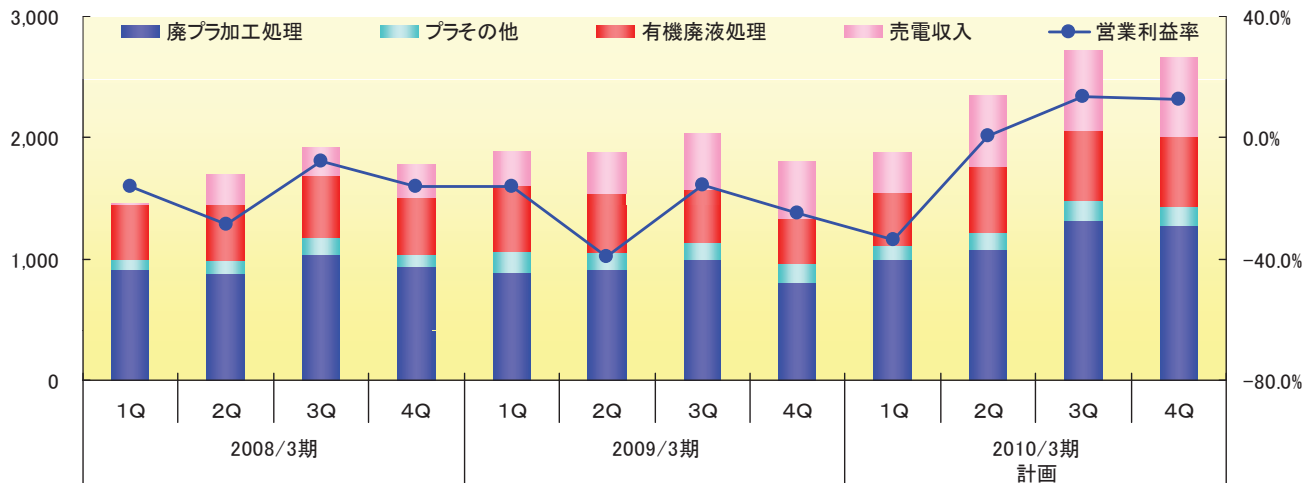
## 戦略と具体的施策

### ◆前期より実施の各施策を引き続き推進し、黒字化を目指す

- 売電収入については、安定的な連続操業に成果が得られたため、段階的な出力増加を見込む。
- 廃プラ加工処理については、外販拡大に伴う需要増に対し、営業を前倒しで増員したことにより、堅調な推移を見込む。
- 有機廃液処理については、設備投資によるコスト削減並びに安定操業により、収益性の改善を見込む。

### ■商品別売上高・営業利益率の推移

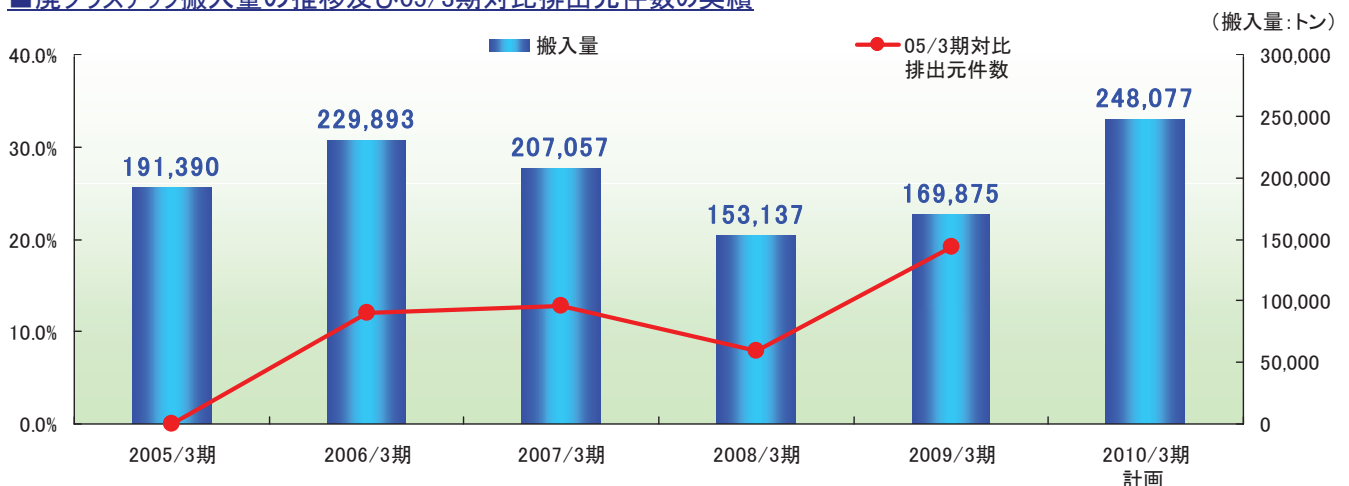
(単位:百万円)



**SANIX** 17

# 2010年3月期：廃プラスチック加工処理の見通し

### ■廃プラスチック搬入量の推移及び05/3期対比排出元件数の実績



<参考:廃プラ加工処理における期中平均営業従事者数の推移>

(単位:人)

2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期(計画)
41	34	31	22	58	86

### <廃プラ加工処理見通し①>

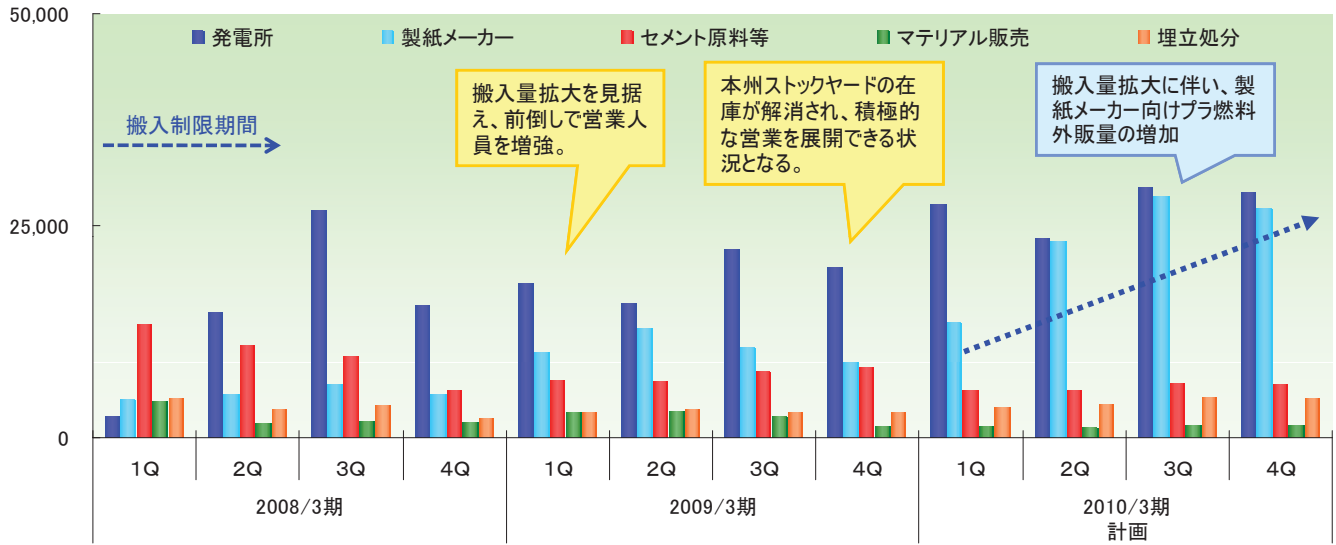
- ◆景気悪化により搬入単価が下落。単価下落による減収を搬入量拡大で補うべく、営業人員を増強。
- ◆新規開拓及び過去の取引先の再契約は堅調に推移。

**SANIX** 18

# 2010年3月期：廃プラスチック加工処理の見通し

## ■プラスチック資源開発工場からの搬出先別搬出量の推移

(単位:トン)



### <廃プラ加工処理見通し②>

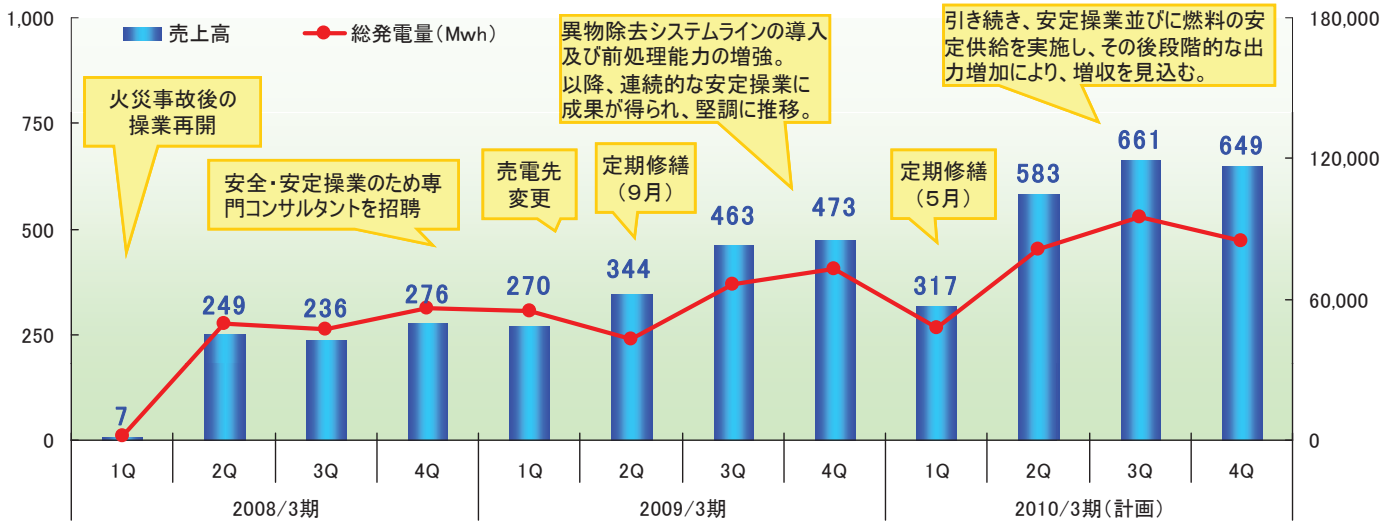
- ◆外販販路拡大による廃プラスチック燃料の需要増加に対し、営業人員の増強並びに本州ストックヤードの在庫が整理されたこと等により、積極的な営業展開が可能な状況となった。

# 2010年3月期：資源循環型発電事業の見通し

## ■売電収入及び総発電量の推移

(売上高:百万円)

(総発電量: Mwh)

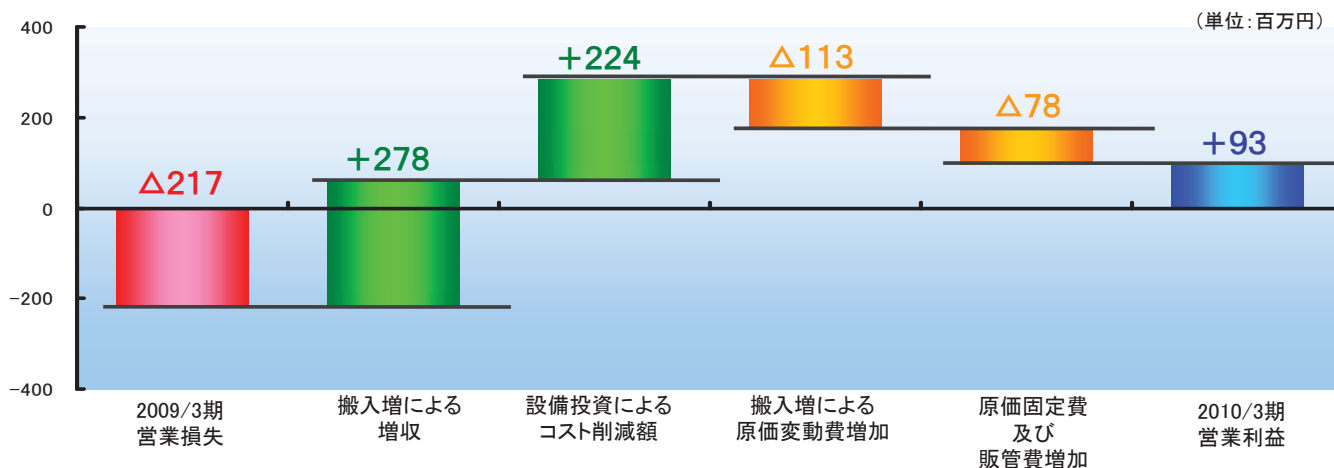


### <資源循環型発電事業の見通し>

- ◆前期売電先の変更が、当初計画より約1ヶ月半先延ばしとなった(5/1予定が6月下旬に延期)反動もあり、今期は売電先変更による増収効果が通期で寄与する。
- ◆安定的な連続操業に成果が得られたため、段階的な出力増加による増収を見込む。
- ◆前期実施の設備投資効果により、出力増加の整備は完了。

# 2010年3月期：有機廃液処理の見通し

## ■有機廃液処理事業における営業損益の見通し

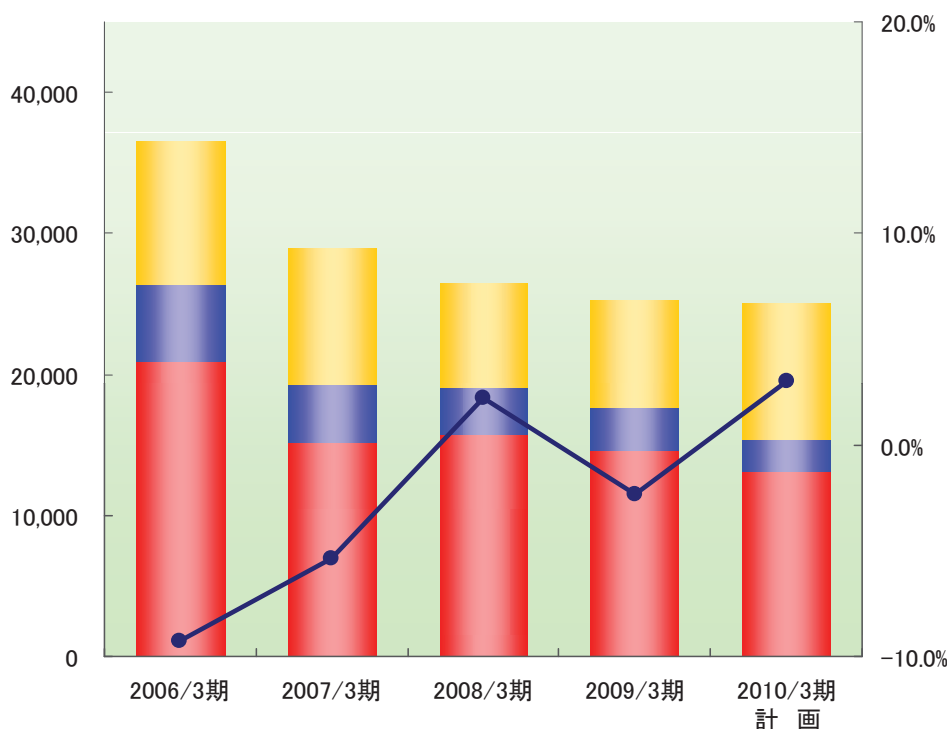


### <有機廃液処理の見通し>

- ◆搬入量増加に伴う増収(影響額約278百万円)。
- ◆前期実施の設備投資により、最終処分費等原価変動費の減少(影響額約224百万円)
- ◆搬入量増加による原価変動費の増加(影響額約113百万円)
- ◆原価固定費及び販売管理費の増加(影響額約78百万円)

# 2010年3月期：インベストメントハイライト

(単位:百万円)



### 2010年3月期見通し

売上高	25,000百万円
営業利益	750百万円
(営業利益率)	3.0%
経常利益	720百万円
当期純利益	600百万円